

平成25年度

事業実績報告書

社会福祉法人 清郷会

1. 概要

当法人は、知的障害福祉・高齢者福祉・児童福祉と多種の事業を運営しています。

知的障害施設は、障害者支援施設が「協和厚生園」[施設入所支援（定員55名）・生活介護（定員55名）]と「十倉厚生園」[施設入所支援（定員50名）・生活介護（定員75名）]。生活介護事業所が「日吉厚生園」（定員60名）。多機能型事業所（定員8名）・地域活動支援センター（定員15名）が「デイとくら・輝」。就労支援事業所が「ワークわく・きよさと」（定員20名）、6月と7月に3名の利用者を就職へと結びつけました。特別養護老人ホームが「九十九荘」[施設サービス（定員80名）・デイサービス（30名）]。保育所が「青空保育園」（施設サービス定員120名）。今年度は2回目の卒園児を23名送り出しました。そして、障害者のグループホームが「ほっとハウス」・「ひだまり」・「三歩ハウス」、福祉ショップが「ぷらっと」。各施設は、現行法に沿って運営を行いました。

「清郷会」は、社会福祉法人として、時代のニーズ、地域のニーズ、利用者のニーズ、家族のニーズに応じて事業を立案・建設・実践と展開をしました。

各施設での支援は、利用者の年齢や障害の程度、認定区分（支援・介護）により支援・重度化への対応、健康への配慮、体力維持・増進、乳幼児の年齢による発達過程ごとの支援（発達・発育）など、各施設独自の課題や仕事内容も多種多彩ですが、個別支援計画・ケア計画・個別指導計画の基に基本的な生活習慣・創作活動・文化的活動・余暇的活動・リハビリテーション、遊びを通しての教育・養護や子育て支援など、年間を通して支援し、利用者・児の意向・人格の尊重の中で、自立支援・乳幼児の成長に向けて取り組むことが出来ました。

地域福祉として、短期入所・日中一時支援・地域活動支援センターⅡ型・児童発達支援・放課後児童デイサービス・相談支援事業・一時預かり特定保育・子育て支援事業（園開放・育児相談）を提供して受け入れや相談に応じ地域ニーズに応えました。また、特別支援学校の受け入れ、富里市内中学校生徒の職場体験や富里市社会福祉協議会主催の夏休み社会福祉施設の職場体験ボランティアの受け入れなども行い地域・学校・団体との連携も行いました。

6施設7事業所は、地域との交流を図り、地域に開かれた事業所として活動ができました。また、自治会や町内会との交流、そしてボランティアの皆さんの幅広い活動

により、利用者・児の生活に喜びや感動をもたらし、心も豊かにしてくれました。

職員は、専門性を高めるために、各種研修会に参加をして資質向上に努めました。

各事業所(施設)は、富里市を中心に近隣市町村の皆様のご利用を頂き、地域の方々に支えられて、地域福祉の増進のために活動を続けてきました。富里市をはじめ近隣市町村のご支援・ご指導に御礼申し上げます。

また、各施設の活動を支えて下さっているボランティアの皆様方、ご寄付、ご助成頂く団体様、個人の皆様に心より感謝申し上げます。

2. 理事会・評議員会開催について

第1回 平成25年5月29日(水) 理事6名・評議員7名・監事2名

- 議決事項 第1号 平成24年度法人及び各施設事業報告
第2号 〃 法人及び各施設会計決算報告
第3号 グループホーム(スプリンクラー整備)協議書提出
第4号 その他(十倉ハウス)4条申請及び内示について
九十九荘物品購入について(車、浴槽)

第2回 平成25年8月20日(火) 理事6名・評議員7名

- 議決事項 第1号 ケアホーム「十倉ハウス」の口頭内示について
第2号 入札等資格審査委員会の人選について
第3号 入札等について
第4号 その他

第1回 入札等資格審査会 平成25年10月31日(火) 審査会委員8名

- 議決事項 第1号 氏名競争入札参加の募集について
第2号 土工事業者の選定
第3号 入札等について

第2回 入札等資格審査会 平成25年11月13日(水) 審査会委員8名

- 議決事項 第1号 氏名競争入札参加募集についての結果報告
第2号 入札参加業者の決定及び県報告
第3号 入札日の決定及び富里市立会人の依頼について
第4号 スプリンクラー整備の内示及び契約について
第5号 土木工事の契約について
第6号 その他(高額寄付等)

第3回 平成26年2月27日(木) 理事6名・評議員7名

- 議決事項 第1号 平成25年度法人補正予算(案)
第2号 " 各施設補正予算(案)
第3号 ケアホーム着工及び完成について
第4号 グループホームスプリンクラー工事完了について
第5号 駐車場移転による契約について
第6号 その他

第4回 平成26年3月27日(木) 理事6名・評議員7名

- 議決事項 第1号 平成26年度法人及び各施設事業計画(案)
第2号 " 法人及び各施設会計予算(案)
第3号 職員の採用、退職、異動等について
第4号 法人職員採用について
第5号 その他

3. 施設の規模(資産の状況)

(1) 土地及び建物の状況

土地 (41筆)	47,282.86 m ²	法人所有地(25筆)	38,432.86 m ²
協和厚生園用地	6筆	5,862.84 m ² (借地 600 m ² 含)	駐車場有償
日吉厚生園用地	1筆	2,885.76 m ²	
九十九荘 用地	5筆	9,215.64 m ² (借地 1,896 m ² 含)	駐車場有償
十倉厚生園用地	6筆	17,265.00 m ²	
グループホーム用地	4筆	1,958.62 m ²	
保育園用地	19筆	10,095.00 m ² (借地 6,354 m ² 含)	

借地について (8,850 m²) 保育園等無償借地 5,318 m²
他 3,532 m² 駐車場有償

建物 (26棟)	11,465.00 m ²	車庫運用財産含
協和厚生園建物	(6棟)	1,958.07 m ²
日吉厚生園建物	(4棟)	952.06 m ²
九十九荘 建物	(5棟)	3,870.39 m ²
十倉厚生園建物	(5棟)	3,209.55 m ² (車庫 110. m ² 含)
グループホーム建物	(4棟)	458.54 m ² (1棟借家 98.82 m ² 含)
青空保育園建物	(2棟)	1,208.84 m ²

(2) 施設整備資金借入金の状況		福祉医療機構(旧 社会福祉医療事業団)より	
平成14年	九十九荘	借入額	30,000,000円
		償還済額	16,500,000円
		要償還額	13,500,000円
平成10年	十倉厚生園	借入額	130,000,000円
		償還済額	97,500,000円
		要償還額	32,500,000円
平成23年	青空保育園	借入金	50,000,000円
		償還済額	2,850,000円
		要償還額	47,150,000円
		償還済合計額	116,850,000円
		要償還合計額	93,150,000円
		合計	210,000,000円

4. 運営概要

6施設7事業所は、平成25年度事業計画に基づき順次実施された。利用者・児に対し、個々人の自発的な考えを支え、趣旨・目的を把握して、「個別支援」を行った。日々の生活での「仕事」「文化活動」「自治会活動」「余暇の活動」「利用者の要望」「各種リハビリテーション」など、その全てが「自立」・「生きがい」へ向けての支援・援助となった。また、乳幼児においては、遊びの中から学び、育ちの場として日々の成長を支援した。

(1) 地域交流行事

歩く会、夏祭り、納涼会、芋掘り会、収穫祭などの催しに、乳幼児、小学生、近隣の多くの皆さんの参加をいただき、発表の場・交流の場として、大変良い交流ができた。日吉台地区社協等との地域交流については、芋ほり、栗拾い、柚子の収穫、夏祭り行事などの交流ができた。また、地域への参加として、富里福祉まつり、富里ふるさと祭、ふれあい印旛、八街福祉祭、八街ふれあいスポーツ大会、八街ユニークダンスのつどい、日吉台小PTAバザー、日吉台商店会、富里障害者フェスティバル、公津小学校バザー、日吉台小学校、浩養小学校、富里南小学校、富里北中学校との多種多彩な交流ができた。また、利用者・園児の経験の場が増えた。

(2) 体験学習

6施設7事業所ともに、施設を開放し体験の場を提供しました。知的障害をもつ方たちの入所・通所、そして高齢者と幅広い体験の場を、青空保育園、葉山保

育園、浩養幼稚園、日吉台小、七栄小、洗心小、浩養小、富里南小、富里南中、富里中、富里北中、富里特別支援学校、印旛特別支援学校、富里市社協夏休み体験、支援学校教師、PTA地区社協、富里中部地区民生委員、自治会その他多くの利用があった。

(3) 実習

6施設7事業所が実習の受け入れ行う。東京成徳大学、淑徳大学、東京福祉大学、帝京科学大学、城西国際大学、聖徳大学・短大、植草学園大学・短大、千葉敬愛短大、千葉経済短大、千葉明德短大、聖セシリア女子短大、日本赤十字看護専門学校、成田国際福祉専門学校、一葉福祉専門学校、NHK通信教育、二葉看護学校、八街高校、東京福祉専門学校、江戸川大学総合福祉専門学校、東京スポーツ・レクリエーション専門学校、つくばビジネスカレッジ、千葉女子専門学校、富里社協、富里市立第一小、その他。多くの皆さんに学習や体験の場を提供しました。

(4) ボランティア

環境整備、朗読、陶芸、洗濯・リネン、理髪、尺八、ちぎり絵、レザークラフト、フラワーアレンジメント、舞踊、そして富里ボランティア、富里民謡会、葉山保育園、富里南中、家族ボランティア、ぽこあぽこ、音楽療法、等、個人、グループの皆さんにご支援を頂きました。

(5) スポーツ

障害者施設では、富里スイカロードレース、成田POPラン、四街道ガス灯ロードレース、佐倉朝日健康マラソン、千葉ゆうあいピック駅伝大会、県障害者スポーツ大会（陸上競技・フットベースボール・ボウリング）、県障害者フライング・ディスク大会、手をつなぐスポーツのつどい、ソフトボール大会、県ID陸上競技選手権大会などの競技に参加し目標に向かって努力をした。参加する喜びは自信につながった。

(6) 在宅者・児、保護者への支援

障害者支援施設（協和・十倉）は、短期入所（宿泊）で多くの方が利用し、日中一時支援を実施している。日吉厚生園は、日中一時支援や土曜日もオープンをして支援。そして十倉厚生園は、障害者・児相談支援事業を実施。デイとくら・輝は、生活介護・児童発達支援・放課後児童デイサービスを実施している。障害者支援施設は、グループホームのバックアップなど幅広く在宅者の支援を行っている。青空保育園は、一時預かり保育・子育て支援事業（園開放・育児相談）・

延長保育を実施している。九十九荘は、短期入所やデイサービスの受け入れ人数が多く、各施設とも地域在宅支援に貢献した。

(7) 防災訓練

各施設は、避難訓練を実施し、職員が非常時に対応出来るよう発災場所を変え訓練を実施した。また、消防署立会いの避難訓練や職員による初期消火も実施した。非常時に備え、非常食を園庭で試食もする。グループホームにおいても避難訓練を実施する。また、協和・日吉厚生園には、インバーター搭載の発電機（各1台）の配備をする。

(8) 広報活動

6施設から構成する広報委員会は、年2回広報誌を発行し、公的機関その他に配布をした。ホームページ委員会は、ホームページの内容を検討し、より良いホームページとなるよう努力した。

(9) グループホーム

名称「ほっとハウス」は、男性4名が八街市文違の一戸建てに住む。名称「三歩ハウス」は、9月に富里市十倉の一戸建てに移転1名増員して男性4人で住む。バックアップ施設の十倉厚生園は8名を見守りながら支援した。名称「ひだまり」は女性4名が富里市七栄の一戸建てに住む。バックアップ施設の協和厚生園は4名を見守りながら支援した。

(10) 助成・寄贈

耐震化等整備費補助	スプリンクラー設置（ひだまり、ほっとハウス）
千葉県共同募金会	インバーター搭載発電機各1台（協和厚生園、日吉厚生園）
国庫・県	ケアホーム整備費・開設支援金（十倉ハウス）
協和・日吉家族会	加湿器9台（協和厚生園、日吉厚生園）
十倉家族会	備品（十倉厚生園）
富里市手をつなぐ親の会	トイレトペーパー（各知的障害者事業所）
幸せの黄色いレシートキャンペーン	備品（各障害者事業所）
その他（匿名・個人等）	

(11) 職員研修

県内外で開催する研修に数多く参加し、研修参加職員から他職員が報告研修を受ける。難しいケースに対応するため、目標をもって多種の研修に臨んだ。支援の方法、介護技術、機能訓練関係、身体拘束、虐待防止、感染症、認知症、保育

研修、摂食指導、乳幼児の食育に関する研修など具体的な研修に参加でき、利用者・児の多様なニーズに応えた。

そして、6施設7事業所交換職員研修は、異業種・他施設で研修をすることで、新しい発見や業務の再確認など新鮮な気持ちで研修が実施されました。法人合同研修会は、中堅職員を対象に「聴く・話す」の講演及び「コーチング・テーチング」の実技を行い人材育成のために熱気ある研修会を行った。

(1 2) 環境・美化

花壇やフラワーボックスに季節の花を植えた。季節で移り変わる花々に、地域の人たちは、花の美しさ、花の色、花の香りに思わず立ち止まった。利用者・児、地域住民の目を楽しませた。

(1 3) 家族との連携

利用者・児の支援に家族は大変大切な欠くことができない存在です。一泊旅行（十倉）グループ旅行、夏祭り、芋掘り会、マラソン大会、忘年会、新年会、運動会、入園式、卒園式、その他、家族と一緒に実施することで、利用者・児の喜びは格別のものであり喜びがいつまでも続くことを望みます。